

複式学級の学習指導の類型

複式学級の学習指導の類型

複式学級の学習指導

いろいろな指導法がありますが、一般には大きく分けるとこの二つになります！

学年別指導

【メリット】

- ・教科の系統性を踏まえやすい。
- ・学年の発達段階に応じた指導ができる。
- ・転出入の児童生徒や欠学年などの問題に左右されない。

【デメリット】

- ・直接指導と間接指導の組合せや、教師の「わたり」が複雑になる。
- ・両学年の協力的な学習の場の設定が難しい。

同単元指導

【メリット】

- ・共通の指導場面が多く、一人一人に対して丁寧な指導を行うことが可能になる。
- ・協同的な学習が可能となり、思考の多様化や深化、表現力の向上が期待できる。
- ・教材・教具の準備や学習展開の効率化が期待できる。

【デメリット】

- ・上学年の教材では、下学年にとって難しさがああり、下学年に対応した指導や評価が求められる。
- ・転出入や欠学年などの問題に対応しにくい。
- ・教科書の給与時期を考慮する必要がある。

複式学級の学習指導の類型「学年別指導」

学年別指導

学年別に指導する方法

異教科の組合せ

同教科異単元の組合せ

学年別指導による指導計画では、学年ごとに学習する内容や目標が異なるため、直接指導や間接指導による学習形態の工夫が必要です。

学年別でも、多学年による指導のよさ、少しでも多い人数での学習のよさを生かしたい！

そのためには・・・

- ・単元の導入や習熟段階、課題解決の検討の場面で共同学習ができるように指導計画を工夫する。
- ・年間の教材を比較検討し、できる限り同領域あるいは同単元の配列ができるよう工夫する。
- ・教材の精選や指導の重点化を図り、ゆとりをもって学習に取り組めるよう計画を立てる。

複式学級の学習指導の類型「同単元指導」

同単元指導

2つの学年あるいは3つの学年を同単元で指導する方法

一本案

同内容・異程度で学年差が明確である。

二本案

同内容・同程度で教材を構成する。年度ごと（A年度・B年度）に教材が変わる。

折衷案

一本案を主体に一部二本案を取り入れる。また、二本案を主体に一本案を取り入れる案もある。

同単元指導

類似内容指導

2学年の児童生徒に対して、同じ領域の教材を同じ時期に指導する方法

同内容指導

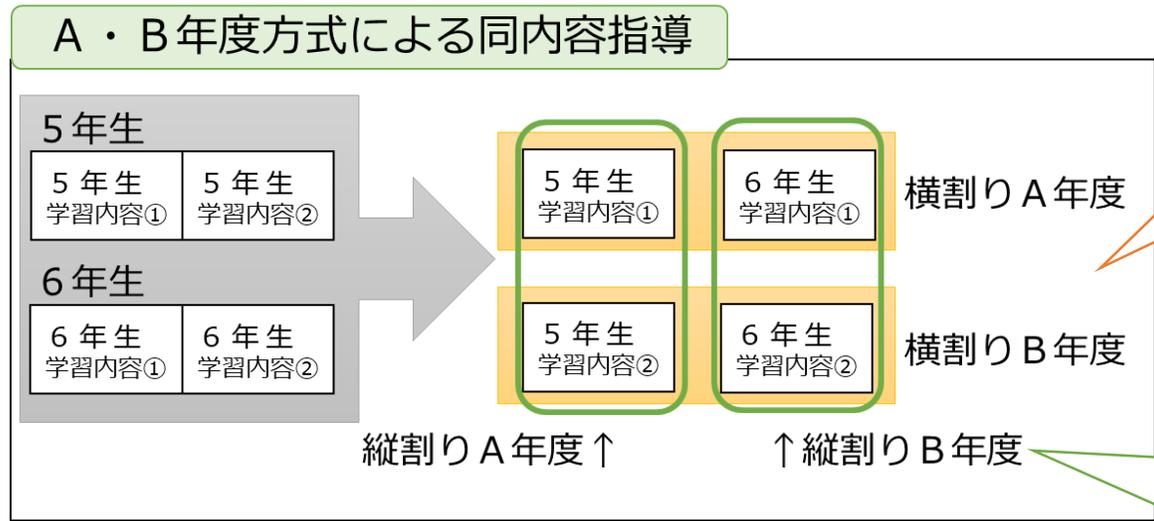
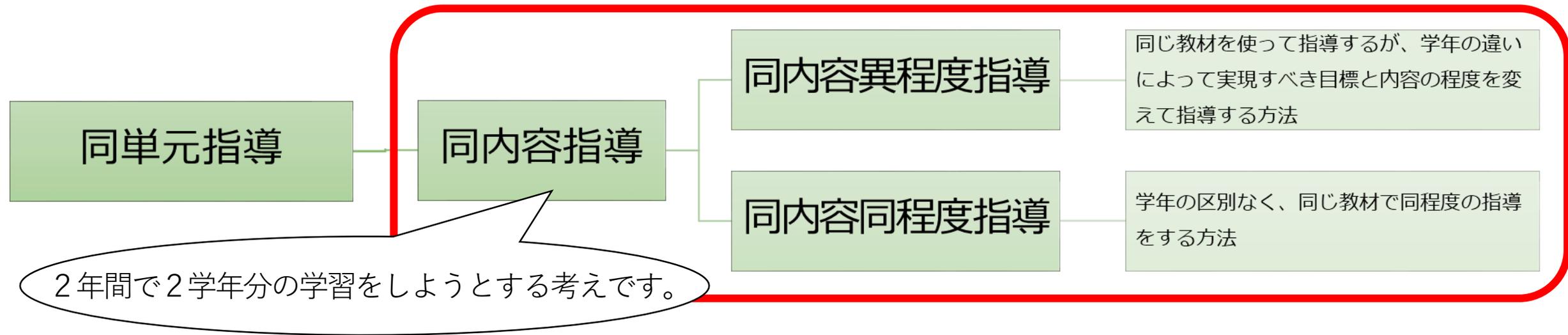
同内容異程度指導

同じ教材を使って指導するが、学年の違いによって実現すべき目標と内容の程度を変えて指導する方法

同内容同程度指導

学年の区別なく、同じ教材で同程度の指導をする方法

複式学級の学習指導の類型「同単元指導」



【横割り方式】
領域・分野の中で系統性や順序性を考慮しながら、両学年の内容を混合して配列した指導計画を立てる方法。

【縦割り方式】
両学年の学習内容を2年間にわたって、別々に配列する方法。例えば、1年次（A年度）は5年生の内容を、2年次（B年度）は6年生の内容を指導するという計画である。